

2019年(平成31年)3月期 第1四半期決算 主要な質問に対する回答

Q: 2018年第1四半期の実績について総括していただけますか？

A: 2018年第1四半期は、売上収益前年比増287億円(+14%)、調整後営業利益も前年比増108億円(+65%)となりました。売上収益の増加は新車販売と部品サービスを中心とするバリューチェーンの双方で売上増加したことによります。利益面も、販売物量の増加に加えて、部品サービスなどのバリューチェーンの貢献により、大幅な増益となりました。

財務面では引き続き効率向上に取り組みました。たな卸資産手持日数は、旺盛なマイニング需要に対応した完成車の増加や、前期末に払底した在庫の補給により、昨年度末比で7日分増えましたが、前年同期比では10日分改善しています。また、営業債務は239億円減少していますが国内で取引先との支払方針を早期化したことによるものです。キャッシュ・フローについては、営業キャッシュ・フローが268億円、フリーキャッシュ・フローは316億円の支出超過になりましたが、前述のたな卸資産増加や買掛債務の減少が影響したことによります。

Q: 2018年度見通しについて総括していただけますか？

A: 2018年度の業績見通しは、年度当初の見通しから変更しておりません。事業環境は全世界の油圧ショベル需要は4%増、マイニング機械需要は10%増と見込んでおり、販売物量も増加する見込みです。当社としては、中期経営計画にも掲げている通り、バリューチェーンの深化を図り、経営効率を上げ、先進技術開発やIoT関連の研究開発を進め、これらの施策を遂行する為に必要な投資や間接費支出も、売上収益増加率とのバランスをとりながら進めて参ります。

Q: 建機の需要環境の見方についてもう少し詳しく教えてください

A: 当社の主力製品である油圧ショベルの世界需要は、当社としては、2018年度は中国・インド・北米等で増加、日本・ロシア CIS・中南米・中東では減少すると見込んでおり、全体で4%増加するものとみています。この需要規模は対前年比の増加率では小さいものの、過去最高水準であった2010年度のレベルに近づく見込みであり、販売物量もこれに伴い増加する見込みです。

Q: マイニング機械の需要環境の見方について教えてください

A: 超大型油圧ショベルと150トン以上ダンプトラックについては、当社としては、2018年度は前年比10%増加すると見込んでいます。そのうち、必ずしもマイニング向けではない100トンクラスの超大型油圧ショベルの需要は既に2015年度から増加してきており、現在の高い需要水準が2018年度も継続するとみています。また、その需要の殆どがマイニング向けの250トン以上の超大型ショベルとダンプトラックについては、2017年度に増加傾向が顕著となり、2018年度も継続的に増加するものとみています。これらの状況を反映して、当社の注力するマイニング向け超大型ショベルとダンプトラックについても、現在、引合・受注が活発化しています。